

第1回上浦幌地区小中合同大運動会 平成26年5月31日(土)開催

合同運動会が意味するもの…

上浦幌地区では長年、話題になっていた小学校と中学校合同による運動会を平成26年度(本年度)よりいよいよ実施する運びとなりました。

今まで、互いの学校で教育活動の大きな位置づけとして行っていた体育祭・運動会を一緒に行うことには、様々な課題があります。ねらい・目的の違い、手だて・方法、種目の整理、係活動等。さらには、PTAのかかわり方まで異なっています。

しかし、その校種を越えた違いにこそ、子ども・学校・保護者・地域にとって大きな意味があるように感じます。

子どもにとって

小学生は中学生の姿から「目標」・「理想とする成長の姿」等を感じとります。

中学生は小学生の姿から「励み」・「自覚」を意識することになるでしょう。

学校にとって

9年間という義務教育の指導の在り方や実践を知り、日常の教育実践を振り返る機会となります。学校職員にとっては、正に、この取組自体が研修活動となります。

保護者PTAにとって

子どもたちの活動に校種の垣根を越えた、保護者同士の連携が行われます。

地域にとって

上浦幌地区の学校で生まれ、成長している「地域の子どもの成長」を拝見していただく貴重な場となるでしょう。世代を超え、地域の学校を温かく見守っていただく心のつながりへと広がっていくことが期待されます。

いずれにしても、子どもの成長の為にということは共通しています。合同運動会の取組が、学校・保護者・地域がより良くなり、地域総ぐるみで教育を推進して力になることを期待しています。あわせて、浦幌町が進める「小中一貫CS」の実践の一つとして大きな意義があるものと確信しています。



～学びと育ちの連続性～

浦幌小中一貫CS便り

平成26年5月23日(No.19)

浦幌町教育委員会

浦幌町教育研究所

上浦幌地区小中一貫コーディネーター委員会



児童・生徒が一緒になって 『石拾い』



5月12日に中央小と上浦中の全校児童・生徒43名が一斉に運動会の会場となる中央小のグラウンドの石拾いを30分行いました。

より良い環境の中で運動会が行えるよう、小中学生が協力して活動しました。



最後の締めは 小中合同PTA環境整備

子どもたちが石拾いを行った後、午後から、PTAの皆様方にお集まりいただき、最終的な整備をおこなって下さいました。

事前に上浦幌PTA連合会拡大役員会を開き、詳細についての打ち合わせを行いました。

当日は、総勢28名の保護者の方に参集いただきました。トラクターも10台準備いただき、石拾い、砂まき、土ならし、転圧など、約2時間、活動いただきました。

校種を越え、保護者も協力して、子どもたちのために連携しています。